

創業120周年記念式典開催



バンドー化学

バンドー化学は今年 4 月に創業 120 周年を迎えた。同社は 1906（明治 39）年、神戸で創業し阪東式木綿調帯の生産を開始、1921（大正 10）年に日本初のコンベヤベルトを生産、1932（昭和 7）年には日本初の V ベルトを生産するなど、日本の産業ベルトをリードしてきた。同社では創業 120 周年を記念し、4 月 14 日の創業記念日に記念式典とプライベート展示会「バンドーテクノフェア 2026」を開催。またホームページに「120 周年記念サイト」（4 月 1 日公開）を新設し、本社エントランスのリニューアル工事なども実施した。

バンドー化学は、4 月 14 日の創業記念日に「創業 120 周年記念式典」および「バンドーテクノフェア 2026」を、ホテルオークラ神戸（兵庫県神戸市）で開催した。創業 120 周年記念式典は、同社従業員約 400 人が出席した。式典であいさつに立った植野富夫社長



あいさつする
植野社長

は、創業以来、日本初、世界初の革新的な製品を生み出し、産業振興と社会の発展に貢献してきたバンドー化学の 120 年の歴史を振り返るとともに、人と社会を支える企業として、環境や社会問題の解決に寄与する新たな価値を創造していく決意を表明した。そして最後に「バンドーの未来は、私たち一人ひとり、皆さんの力によって創られる。私はこの素晴らしい仲間と、次の未来を築けることを、心から誇りに思っている。そして、皆さんにとっても、当社が



創業 120 周年記念式典

BEST PARTNER と思える会社でありたいと思う。120 年の歩みとその誇りを胸に、次の未来へ、ともに新しい歴史をつくっていく」と従業員に呼びかけた。式典では、社長特別表彰等の授賞式が行われ、それぞれの受賞者が植野社長から表彰状を授与された。また永年勤続従業員へのリフレッシュ・ファンドも授与された。

120年の歩みとその誇りを胸に、新しい歴史をつくる

「120 周年記念サイト」を新設

同社では、創業 120 周年を記念して「120 周年記念サイト」を新設し 4 月 1 日から公開している。「バンドー化学の軌跡」という Web ページを作成し、日本の産業ベルトのパイオニアである同社の歩みを、貴重な写真資料とともに詳しく紹介している。またトピックとして「植野富夫社長のトップメッセージ」や、「創業 120 周年記念式典」「バンドーテクノフェア 2026」の様子も掲載している。



120周年記念サイト ▶

JR の 4 駅にアニバーサリー広告

4 月 13 日から 19 日までの 1 週間、創業 120 周年を記念して、東京・大阪・新大阪・三ノ宮という日本屈指の利用者数を誇る JR の 4 つの駅にアニバーサリー広告を展開した。

JR 東京駅は「八重洲北口改札内」、大阪駅は「御堂筋南口改札外」、新大阪駅は「改札外 2 階南北（西）通路」、JR 三ノ宮駅は「改札外東西通路」に広告が掲出された。

地元の神戸の三宮では、神戸のランドマーク「ミント神戸」の壁面に設置された、関西最大級のフルカラー LED ディスプレイ「ミントビジョン」と、阪急神戸三宮駅のエントランスに



JR 三ノ宮駅に掲出されたアニバーサリー広告

ある、音響対応の大型 LED ビジョン「神戸三宮プレミアムビジョン」の 2 カ所で、デジタルサイネージによるアニバーサリー広告を放映中だ。

■ バンドーテクノフェア 2026

「バンドーテクノフェア 2026」は 4 月 14 日から 16 日まで開催された。1989 年に当時の雀部昌吾社長の発案で始まった、バンドー化学の最新技術や製品を紹介するプライベート展示会で、2018 年に大阪と東京で開催以来、約 8 年ぶり、通算で 13 回目の開催となった。

今回の「バンドーテクノフェア 2026」では、“Beyond the Next Gate with BANDO”をテーマに、次世代のモノづくりを支える最新技術・製品を「自動車部品」「産業資材製品」「高機能エラストマー製品」「新規事業製品」「基盤技術」「伝動技術」「バンドーエラストマー」「ビー・エル・オートテック」という 8 つの展示ブースで紹介した。

また、製品開発の歩みを通じて同社の技術の進化を振り返る「ヒストリーウォール」、同社のコア技術と製品との関連性を可視化した「テクノロジーウォール」、環境保全への取り組みを紹介する「エコウォール」の展示も行った。

展示会場の各ブースには、同社のさまざまな注力製品が展示された。自動車部品ブースでは、「CNF を適用した高負荷対応ダブルコグベルト」が装着された大型バギーが中央に展示され来場者の目を惹いた。そのほか、EPS 駆動用シンクロベルトや小型スクーター用に新開発した変速ベルトなどが展示された。

産業資材製品ブースでは、食品用高機能樹脂コンベヤベルトや平ベルト駆動システム「HFDsystem」などが展示された。新規事業製品ブースでは、介護施設や病院での嚥下機能評価・訓練に使用される嚥下運動モニタ「B4S」、半導体や車載電子部品などの熱を発生する電子機器の熱対策に有効な高熱伝導シート「HEATEX」、ダイヤモンド固定砥粒ラッピングパッド「TOPX」など、今後成長が期待される注目の新規製品が多数展示された。



バンドーテクノフェア 2026 会場



販賣う会場



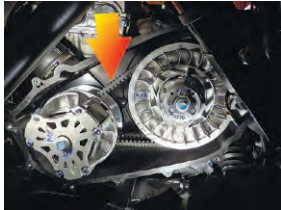
エコウォール



「HFDsystem」



嚥下運動モニタ「B4S」



CNF を適用した高負荷対応
ダブルコグベルト

“Beyond the Next Gate with BANDO”をテーマに開催

本社事業所エントランスをリニューアル

バンドー化学は、創業 120 周年を迎える 4 月 14 日、本社事業所エントランスをリニューアルオープンした。2007 年の竣工以来 18 年ぶりの刷新で、同社の魅力をより感じられる空間へと生まれ変わった。

今回のリニューアルは、創業 120 周年記念事業の一環として、来訪者に同社グループの最新技術や製品を分かりやすく紹介し、同社の魅力を体感してもらえる機会をさらに充実させるために実施した。

「テクノロジー」「シャープ」「未来感」という従来のデザインコンセプトを継承しつつ、同社の魅力を空間全体で感じられるデザイン、映像モニターやタッチパネルを活用し、最新技術・

製品を体感できるインタラクティブ展示にしている。

従来の円形サークル什器に加え、新たにタッチモニター 1 台と映像モニター 8 台の設置や商談・打合せスペースの刷新によって、利便性と快適性を向上させている。



リニューアルした本社事業所エントランス

製品開発の歴史

1906(明治39)年4月

木綿調帯（ベルト）生産開始

1921(大正10)年

日本初のコンベヤベルト生産開始

1932(昭和7)年

日本初のVベルト販売開始

1950(昭和25)年3月

樹脂フィルム・シート製品販売開始

1959(昭和34)年5月

歯付ベルト「シンクロベルト」販売開始

1961(昭和36)年11月

ポリウレタン製品販売開始

1962(昭和37)年

Vリブベルト販売開始

1963(昭和38)年9月

スチールコードコンベヤベルト販売開始

1972(昭和47)年9月

日本初の軽搬送用ベルト「サンライン A」販売開始

1975(昭和50)年2月

複写機用クリーニングブレードの本格生産開始

1982(昭和57)年11月

軽搬送用ベルト「スーパーサンライン」販売開始

1988(昭和63)年9月

世界初の乾式無段変速機（CVT）用ベルト「バンドーアバンス」開発

1995(平成7)年5月

自動車向け補機駆動用伝動システム製品「バンドーオートテンシヨナ」販売開始

2002(平成14)年2月

「省エネスチールコードコンベヤベルト」販売開始

2008(平成20)年5月

平ベルト駆動システム「HFDsystem」を販売開始

2015(平成27)年7月

伸縮ひずみセンサ「C-STRETCH（シーストレッチ）」を開発

2016(平成28)年6月

光学用透明粘着剤シート「Free Crystal」を開発



展示名：「不思議なじゃんけんバトル！じゃんけん、ぽん！」

が医療や介護の現場などで活用されていることを紹介するとともに、子どもたちの知的好奇心を刺激し、科学への関心を高めることを目指している。